

# 愛知の土地改良

新年のご挨拶

2

研修会

17

秋の叙勲・表彰

7

広報活動

22

要請活動

8

お知らせ

27

事業情報

13



「田んぼに水を」(豊川市) 撮影者:鈴木 正美  
第23回あいちの農業・農村フォトコンテスト  
水土里フォト大賞作品



みどり  
水土里ネット 愛知

発行/愛知県土地改良事業団体連合会  
名古屋市西区栄生一丁目18番25号  
電話(052)551-3611(代)



## 新年を迎えて

愛知県土地改良事業団体連合会  
会長 中野 治美



新年にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。  
会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営及び農業農村整備事業の進捗につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年はいくまで以上に自然の厳しさを実感する1年でした。元日に発生した能登半島地震、8月には九州日向灘を震源とする地震発生に伴う南海トラフ地震臨時情報の発表、愛知県内におきましても台風10号による豪雨災害の発生、9月には奥能登豪雨が発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

能登半島地震については本会からも災害応援職員を派遣し、農業集落排水施設の現地調査及び農地関連災害の測量設計等の業務に従事しており、一日も早く平穏な日々が戻ってくるようお祈り申し上げます。

さて、「農政の憲法」ともいわれる「食料・農業・農村基本法」が昨年、四半世紀を経て初めて改正がなされました。

改正基本法では、国民一人一人の「食料安全保障」を基本理念の柱として位置づけ、これまでの国全体の食料の確保（食料の安定供給）に加えて、農業の有する多面的機能の発揮、農業の持続的な発展、農村振興を基本理念に掲げ、国民生活の安定向上および国民経済の健全な発展を良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、かつ、国民一人一人がこれを入手できるようにすることを含むものへと再整理されるなど、食料安全保障についての考え方が抜本的に強化されました。

この改正を受け、新たな食料・農業・農村基本計画、土地改良長期計画の策定、並びに土地改良法の改正法案の検討がなされており、本会としてもこれまで以上に農業農村整備事業の推進が図られることを期待してお

ります。

そうした中、国の土地改良関係予算については、令和7年度当初予算案では、前年度を上回る4,464億円が計上され、補正予算と合わせて総額6,500億円が確保されております。具体的な内容としては、農地の大区画化や汎用化・畑地化等の整備とその集積・集約化、スマート農業やGXの展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の維持・更新、洪水被害防止対策やため池の耐震化等の農村地域の防災・減災対策などを進めてきたところですが、今般の基本法の見直しを踏まえ、幅広い関係者の意見を集約・反映させながら生産基盤の保全をも含めた必要な見直しや施策の拡充を行い、食料安全保障の強化や国土強靱化を一層推進していくことが重要です。そのためにも、当初予算の安定的な確保は不可欠です。

本会ではあらゆる機会に愛知県、関係県議会議員、農林水産省、関係国会議員に対して強力に要請活動を展開し予算確保に全力で取り組んで参る所存ですので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願いします。

また、昨年3月の通常総会において、女性理事2名にご就任いただきました。本会の運営に関する幅広いご意見をいただき、新たな時代にふさわしい水土里ネットの創造に向けて、今後もしっかりと対応して行きたいと考えております。

水土里ネット愛知は、会員の皆様方のご意見等を反映しつつ、「闘う土地改良」「土地改良は未来の礎」のスローガンの下、業務運営に一層の鋭意努力をして参ります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新春を迎えて

愛知県知事  
大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、「ジブリの大倉庫」「青春の丘」「どんどこ森」「もののけの里」に続き、「魔女の谷」が誕生し、「ジブリパーク」がフルオープンしました。

そして、10月には、2019年の構想発表から5年をかけて整備してきた、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」がグランドオープンを迎えました。

世界中から注目を集める2つの施設の完成により、新たなステージへ、また一歩、大きく歩みを進めることができました。

今後も、これらの施設を起点に、世界中から、たくさんの人、最先端の技術・サービスを呼び込み、愛知をさらに元気にしてまいります。

さて、今年7月、いよいよ、アジア最大級・世界最先端のスマートアリーナ「IGアリーナ」がオープンします。スポーツやエンターテインメントの新たな拠点として、「ジブリパーク」や「STATION Ai」との相乗効果を生み出しながら、世界と大交流する愛知を創り上げてまいります。

また、愛知万博20周年となる今年は、3月25日に「愛・地球博20祭」が開幕します。「ジブリパーク」ともコ

ラボレーションしながら大いに盛り上げてまいりますので、ぜひ、楽しみにしていただきたいと思います。

2026年の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするプロジェクトが続きます。

グローバル化の進展やAI等のデジタル技術の急速な発展など、世界が大きく変化する中、今後も、これらのビッグプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様sの生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

# 新年にあたって

全国水士里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子



愛知県土地改良事業団体連合会の皆様には、平素よりお世話になっています。

昨年は元日に能登半島地震が発生、8月に宮崎県沖地震が発生し、南海トラフ地震の発生可能性が高まったとして巨大地震注意臨時情報が初めて発表されました。改めて地震大国日本を感じ、国土の防災・減災、国土強靱化を進めていく必要性を痛感した1年となりました。

また、昨年6月に食料・農業・農村基本法が改正され、新たな基本法の下での農政がスタートしました。改正から初動の5年問を「農業構造転換集中対策期間」として、農業政策の再構築を図ることとしており、本年は初動一年目の重要な年となります。

私自身、一昨年の12月14日から約11ヶ月間、財務大臣政務官を務め、国の財政について日常的に接する機会を得ました。国家財政の観点からも我が国の将来像を考えていかなければなりません。

さて、現在の防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策は、計画期間が令和3年度～7年度、事業規模は概ね15兆円程度となっていますが、令和2～5年度補正予算で12.5兆円、令和6年度補正予算で2.4兆円の事業費が措置され、概ね15兆円を達成しました。現在、政府内で次期対策の国土強靱化実施中期計画の検討が進められていますが、来年度の5月頃までには、中期計画の閣議決定が必要と考えています。土地改良については、現対策に「農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策」や「防災重点農業用ため池の防災・減災対策」等が位置付けられています。新たな中期計画にもこれらをしっかりと位置付け、事業規模も近年の工事費高騰等を踏まえ、現対策以上の規模を確保する必要があります。

次に農政についてですが、本年3月までに食料・農業・農村基本計画が策定されます。政府全体の方針は、「輸入依存度の高い麦・大豆の増産、水田政策を見直す取組、輸出の抜本拡大を図る取組等について効果的な政策を基本計画に盛り込む」(令和6年8月27日、

「食料安定供給・農林水産業基盤強化本部」)ことであり、今後、具体的な検討が進められます。

食料安全保障の確保のためには、食料自給力の強化が不可欠で、私の持論である①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策をパッケージで実施することが必要であり、このうち、土地改良については、令和6年度補正予算の2,037億円と令和7年度当初予算政府原案の4,464億円を加え、6,500億円の予算を確保しました。この予算を活用して土地改良対策を進めていく必要があります。

最後に我が国の財政状況を見てみます。令和6年度末の公債残高は、特例公債(いわゆる赤字国債)残高が803兆円、建設公債残高が298兆円で1,105兆円となる見込みです。平成21年度末の公債残高は、特例公債残高が356兆円、建設公債残高が238兆円の594兆円ですので、この15年間に公債残高はほぼ倍増し、内訳は赤字国債が2.26倍の447兆円増、建設公債が1.25倍の60兆円増となっています。建設国債は社会資本ストックを後世に残すことから、後世に負担を求めるとの説明が可能ですが、赤字国債の負担を後世に説明することは困難と考えています。一義的には、経済成長を促し、将来にわたり税収を増やして財政の健全化を図る中で、後世の負担を軽減し、政策選択の自由度を確保することだと考えます。昨年の賃上げ率、企業の設備投資も過去最高の水準ですので、この傾向を継続し、デフレから完全脱却して我が国経済を成長させ、財政健全化を図っていくことが重要です。

農政や国土強靱化、我が国経済の転換の大事な節目である令和7年が始まるにあたって、決意を新たにしておいて、農業農村の振興、国家の発展に向けまい進してまいりたいと考えています。同志の宮崎雅夫議員共々皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げますとともに、愛知県土地改良事業団体連合会の一層のご発展とご繁栄をお祈りいたします。

# 新年にあたって

全国水士里ネット会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫



愛知県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

また、昨年も能登半島地震をはじめ、全国各地で甚大な災害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く日常生活を取り戻して頂けるよう、復旧・復興に最大限の努力をしております。

さて、昨年は、社会情勢の不安定化等に起因し、食料や資材価格等が高騰するとともに、全国的に食料供給に対する懸念も広がった1年でした。食料は、生命維持に不可欠なものであり、どのような事態が生じたとしても安定的に確保することが国の責務であります。このような状況に対応するため、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」を大幅に改正しました。

私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、現場でお聞きした皆様のお声やご要望等に対し、それぞれの状況に即して、国政の場から全力で対応してまいりました。土地改良関係の令和6年度補正予算では、昨年

度の補正予算から260億円増の2,037億円を確保できました。加えて、12月に閣議決定した令和7年度当初予算案では、前年度を上回る4,464億円が計上され、補正予算と合わせて総額6,500億円を確保することができました。皆様方のご尽力に感謝申し上げますとともに、次期通常国会において、早期成立に向け努力してまいります。

また、改正基本法に沿って、土地改良法を始めとする関係法令等の新設・改正を行うこととしています。特に、本年は改正基本法を実効あるものとしていく「農業構造転換集中対策期間」5ヶ年がスタートする年であり、より良い施策展開のためには、現地課題等を十分に把握し、それに対応したものとなるよう全力で対応してまいります。

本年は、私にとって節目の年となりますが、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念として、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、愛知県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の方々の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。

# 年頭のご挨拶

愛知県農林基盤局長  
長田 敦司



あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、中野会長を中心に、県政の発展に多大な御支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年は、「農政の憲法」とも呼ばれる「食料・農業・農村基本法」が四半世紀ぶりに改正されました。改正法では、国民一人一人の「食料安全保障」を基本理念の中心とし、国内への食料の供給に加え、海外への輸出を図ることで、食料の供給能力の維持が図られなければならない旨が明記されました。

また、基本理念のもと人口減少下における各分野の方向性が明確化され、「農業生産」では、生産性向上を促進するための「農業生産基盤の整備」に加えて、防災減災や老朽化への対応として「保全」が新たに明記されています。

一方、「農村の振興」の方向性として、「地域社会の維持」が位置付けられ、その具体的な施策として「農地の保全に資する共同活動の促進」、すなわち多面的機能支払の促進に関する条項が新設されています。

また、基本法の改正に関連して、人口減少下における農業用インフラの保全管理を進めるため、特に「末端インフラの適切な保全のため、土地改良区と地域の関係者による議論・体制づくりを推進」することを盛り込み、2025年中に土地改良法の改正法案を国会に提出することを目指しています。

こうした中、国の農業農村整備関係予算は、2024年度補正予算で「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を含め2,037億円が確保され、2025年

度当初予算につきましては4,464億円が見込まれております。

近年、激甚化・頻発化する豪雨災害はもとより、当地域は南海トラフ地震の発生も危惧されていることから、災害を未然に防止する排水機場やため池の地震・豪雨対策の推進が大変重要であります。また、高度経済成長期に集中的に造成された農業水利施設などの老朽化が急速に進み、管水路の漏水事故等の突発的な事故が頻発していることから、施設の老朽化対策も急務となっております。

県としましては、地域のニーズに応じた計画的な事業実施に必要な予算を確保し、計画の最終年度を迎える「食と緑の基本計画2025」で掲げている「生産の柱：持続的に発展する農林水産業の実現」、「暮らしの柱：農林水産の恵みを共有する社会の実現」という2つの施策の柱に向けた農業生産基盤の整備・保全にしっかりと取り組んでまいります。

さらに、大規模災害や事故発生時に迅速な復旧対応が可能となるよう、海部応急ポンプ管理センターを完成させるとともに、農業用水管の漏水時などに迅速に対応できるようスペア資材の確保とそれを備蓄する倉庫の建設を着実に進めてまいります。

貴連合会におかれましては、本県農業農村整備の推進に一層の御尽力をいただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、多面的機能を有する農地や農業水利施設等の保全管理、土地改良区の新たな体制づくりに支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々の発展と会員各位の健勝と多幸をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

# 山の 秋の叙勲

政府は令和6年11月3日付で令和6年秋の叙勲の受章者を発表しました。

土地改良関係者からは、村上雅之飛島土地改良区理事長が受章の栄に浴されました。飛島土地改良区の役員に就任されて以来、土地改良区運営に深い見識と長年の経験で培われた優れた技術をもとに、積極的な指導力を発揮され、土地改良事業推進のために尽力された。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。

旭日双光章



村上 雅之様  
飛島土地改良区理事長

# 山の 表彰

## 第76回 愛知県条例表彰

愛知県では、愛知県表彰条例(平成15年条例第6号)に基づき、地方自治、産業、教育文化などの各分野において功績が顕著な個人(団体)に対し、毎年愛知県知事より表彰が行われております。

このたび、多年にわたり土地改良事業の推進に

尽力され、地域の農業基盤の整備や農業の振興に貢献された方々に対し以下の表彰が行われました。

これまでの功績に感謝を申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

### 地方自治功労者表彰

伊藤 太 様 (元春日井市長)  
神谷 学 様 (元安城市長)

### 産業功績者表彰

石川 喜久雄 様 (元高橋用水土地改良区理事長)  
日比野 郁郎 様 (日光川西悪水土地改良区理事長)  
山本 千之 様 (元岡崎市東部土地改良区理事長)

## 農業農村整備の集い

### — 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

11月5日(火)、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンパツハ・サボーで農業農村整備の集いが開催された。

全国水土里ネット主催のこの集いは、全国の土地改良関係者が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に春・秋と年2回開催されている。本県からは、三浦孝司副会長始め、本会会員、愛知県農林基盤局より29名が参加した。

主催者挨拶として、二階俊博全国水土里ネット会長は、「現在は来年度の予算編成に取り組んでおり、農家の皆様に期待を持って、また、安心して働いていただける環境をつくるために我々は、十分な土地改良予算の確保に向け一致団結して取り組む必要がある。国会に我々土地改良関係の声を届けなければならない。

いよいよ来年は土地改良にとっても大きな勝負の年であり、お互いが我々の主張が国全体へ認められているかの戦いでもある。

「闘う土地改良」のスローガンの下、ここに集う一人一人が粉骨砕身の取り組みによって、自ら目的を達成することができるのである。」と告げられた。

続いて、小里泰弘農林水産大臣より、「我が国の農業は、国民に食料を安定的に供給し、地域の経済やコミュニティを支えるとともにその営みを通じ、心の保全・景観の形成といった多面的な機能を発揮している。一方で、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、人口減少に伴う国内需要



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶

の減少や農業従事者の大幅な急減など、我が国の農業は、これまで経験したことのない問題に直面している。農業は国の基であり、将来にわたり国民に食料を安定的に供給することは国の責務である。先の通常国会で成立した改正食料・農業・農村基本法に基づき、初動の5年間で農業を集中的に推し進められるよう、本年度中に基本計画を改定し、施策の充実強化を図っていく。その中で、農地や農業水利施設等の整備と保全を力強く推進していくため、次期通常国会への土地改良法改正案の提出を目指し、検討を加速していく。併せて、生産基盤の強化をしっかりと進め、農林水産業を成長産業化し、美しく豊かな農山漁村を次世代に継承するために、今後とも農業農村整備事業を推進していく。そのために必要な予算については、今年度、当初予算と前年度補正予算をあわせて6,240億円を確保した。令和7年度もしっかりとした予算を要求しているところであり、総理より経済対策の策定指示が



小里農林水産大臣による祝辞



進藤参議院議員による祝辞



あった。食料安全保障の強化や防災減災、国土強靱化対策等に万全を期すことができるよう、引き続き必要な予算の確保に全力で取り組んでいく。」と祝辞をいただいた。

その他、城内実経済安全保障担当大臣、森山裕自由民主党幹事長、西田実仁公明党幹事長、進藤金日子参議院議員から祝辞が述べられ、予算確保や土地改良事業の更なる推進への尽力を誓った。

また情勢報告として、宮崎雅夫参議院議員より「全国で機器材の高騰、人件費の上昇があるが、計画的に必要な事業を確保しながらやっていくためには予算をしっかりと増やしていくこと。これから補正予算や来年の当初予算に向けての戦いが本格化するが、我々も闘う土地改良の原点を忘れることなく、今日お集まりの皆さん方、全国の皆さん方が心をついに結集して、予算の増額確保に向けて取り組んでいきましょう。それに向けて進藤議員とともに



宮崎参議院議員による情勢報告

に先頭に立たせていただき全力を尽くしていく。」と力強く述べられた。

最後に、“ガンバロウ三唱”として全国水土里ネット女性の会の西彩会長、石川房代副会長らが登壇され、令和7年度当初予算の確保を目指し、一致団結することを誓い閉会した。

## 令和7年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

### 〈東海農政局〉

10月30日(水)、三浦孝司副会長より、令和7年度農業農村整備事業に関する22項目の重点要請



秋葉東海農政局長に要請書を手交

を、秋葉一彦東海農政局長を始め、局幹部職員に対し実施した。



東海農政局幹部への要請

### 〈農林水産省及び関係国会議員〉

11月5日(火)、三浦孝司副会長より、令和7年度農業農村整備事業に関する22項目の重点要請を、前島明成農村振興局長を始め幹部職員に対し実施した。午後からは、同内容の重点要請を、宮崎雅夫参議院議員、進藤金日子参議院議員並びに藤川政人参議院議員を始め愛知県選出の衆・参国会議員に対し実施した。



前島農村振興局長に要請書を手交

10ページへ続く

## 〈自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟〉

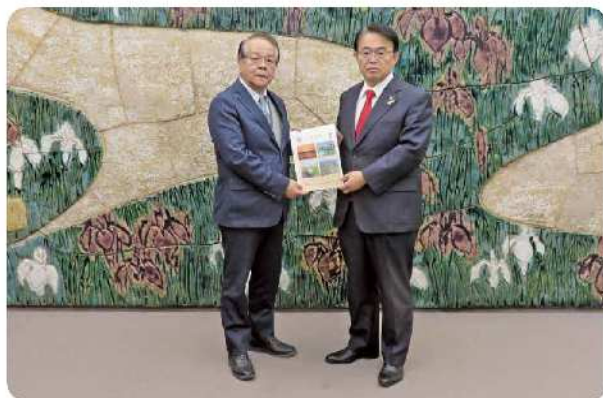
11月25日(月)、中根俊樹専務理事より、令和7年度農業農村整備事業に関する24項目の重点要請を、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟に対し実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請

## 〈愛知県知事〉

その後、中野会長より同内容の重点要請を、大村秀章愛知県知事始め県執行部に対し実施した。



大村愛知県知事に要請書を手交

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおり。

### 要請書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

国においては、令和7年度の概算要求におきまして、農業農村整備関連予算について、前年度比118.8%の5,301億円を要望していただき、重ねて御礼申し上げます。

しかしながら、昨今の資材価格及び人件費等が高騰する中、地域ニーズに応じた事業を安定的、計画的に展開するためには、農業農村整備事業の当初予算の安定的な確保が不可欠であります。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水施設が造成され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額で全国8位、中部地方最大の農業県であり、これを支えていくためにも、計

画的かつ着実に農業生産基盤の整備を進めていかなければなりません。

これらの大規模な水利施設を、更に機能的かつ高度に活用し、後世に引き継いでいくためにも、国営事業・水資源機構営事業を着実に推進していただくと共に、その他の施設についても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

特に、本県の農業を飛躍的に発展させた水資源機構施設はこれまでも整備が進められてきましたが、このうち、木曾川用水施設は長年に亘る地盤沈下等による機能低下が生じていることから、着実な事業実施をする必要があります。

また、愛知用水及び豊川用水施設は、農業用水の安定供給のため、老朽化対策のみならず耐震対策を計画的に進める必要があります。

また、近年の自然災害の発生や大規模地震発生の将来予測を踏まえ、安定した農業経営、農

村の安全・安心の暮らしの実現のため、防災減災に資する農業水利施設の地震・豪雨対策の計画的な整備が求められています。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて24項目の重点要

請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

## 重点要請24項目

### I 地域ニーズに応じた農業農村整備事業の展開について

- 1 建設資材価格等の高騰分を含めた予算確保について
- 2 FRPM管の漏水事故による第三者被害の防止について
- 3 農業集落排水事業の地元負担の軽減について
- 4 土地改良事業計画の変更時における土地改良法手続きの簡素化について
- 5 水資源機構営事業の制度拡充について

### II 農業の成長産業化、国土強靱化に資する農業農村整備事業の促進について

- 1 農業生産基盤整備の促進について
- 2 国土強靱化に資する農地防災事業の促進について
- 3 農地防災事業の効率的な実施に向けた設計基準等の改定について
- 4 中山間地域における土地改良事業の促進について
- 5 農業農村整備事業における費用対効果の分析手法の改善について
- 6 多面的機能支払交付金による地域の共同活動の着実な促進について
- 7 土地改良施設維持管理適正化事業の促進について
- 8 水利施設管理強化事業の促進について
- 9 単独土地改良事業の推進について
- 10 農業用排水機場の適切な維持管理事業に対する支援について

### III 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 明治用水頭首工地区 土地改良施設突発事故復旧事業の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 3 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の推進について
- 4 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 5 国営土地改良事業 矢作川沿岸地区の早期着工について
- 6 宮田用水施設における地域整備方向検討調査の着実な推進について
- 7 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 8 水資源機構営 木曾川用水濃尾第二施設改築事業の推進について
- 9 水資源機構施設の更新整備について

※国会議員・農林水産省には、IIの9・10を除く22項目を要請

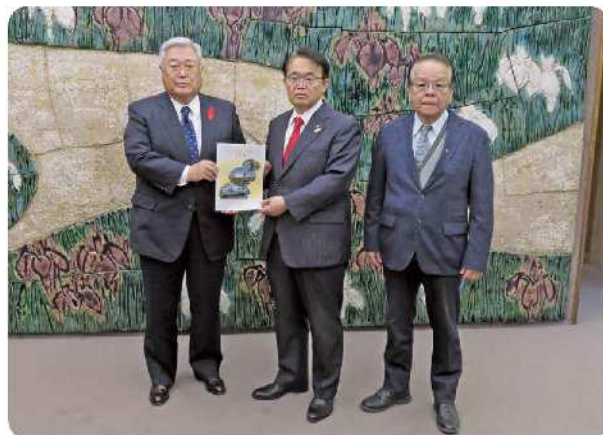
# 農業用排水機県営移管期成同盟会 要請活動を実施

11月25日(月)、農業用排水機県営移管期成同盟会日比野郁郎副会長より、大村秀章愛知県知事を始め、県執行部並びに自由民主党愛知県議員団

土地改良議員連盟に対し排水機維持管理事業に関する要請を実施した。



自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟への要請



大村愛知県知事に要請書を手交

要請書は次のとおり。

## 要請書

### 排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県営管理を要望してまいりました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されました。

このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、私どもが公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助して頂いているところであります。

現在、県営事業で計画的に農業用排水機の長

寿命化や更新を行って頂いておりますが、近年、各地で台風や豪雨による災害が発生しており、農業用排水機の管理者の責任はますます増大していることから、より高度な点検・整備と運転体制を確保する必要があると実感しております。

しかしながら、排水機維持管理事業の県補助額につきましては、本来の交付対象額が充足されていない状況が続いています。

この状況が更に続けば、排水機の適正な維持管理が困難になり、ひいては地域の防災機能の脆弱化を招き、地域住民の生命と財産を守ることが極めて困難になると懸念しております。

つきましては、こうした維持管理の現場における厳しい実情をおくみ取りいただき、排水機維持管理事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。

# 事業情報

## 宮崎雅夫顧問との意見交換を実施

9月13日(金)、18日(水)、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫氏(参議院議員)が、本県の各地域を訪れ、意見交換会を開催した。

各会場にて、宮崎顧問より国政報告があり、引き続き意見交換会が行われた。さらに、要望書の説明・手交がされた。

いずれの会場においても活発な質疑、意見交換が行われた。

9月13日



名古屋管内(小牧市勤労センター)



一宮管内(入鹿用水土地改良区)



一宮管内(平和土地改良区)



海部管内(海部津島土地改良会館)



半田管内(武豊町民会館ゆめたろうプラザ)

9月18日



岡崎管内(へきしんギャラクシープラザ)



岡崎管内(岡崎市民会館)



豊田管内(豊田産業文化センター)



幡豆管内(JA西三河事務センター)

# 第46回 全国土地改良大会 千葉大会

## ふさの国から飛び立て水土里の恵み 力強く未来に繋ごう水土里の礎

第46回全国土地改良大会千葉大会が、10月22日(火)、「幕張メッセ」(千葉県千葉市)において、全国水土里ネット・水土里ネット千葉の主催により、「ふさの国から飛び立て水土里の恵み 力強く未来に繋ごう水土里の礎」を大会テーマに全国各地から農業農村整備事業に携わる関係者約4,000名が一堂を会し、新たな農業・農村の展開方向に即して、農業農村整備の重要性と、それを下支える「水土里ネット」の役割を再認識し、関係者各位の意識の高揚と、我が国の農業・農村の更なる発展を目的として開催された。

式典では、森英介水土里ネット千葉会長の挨拶を始め、二階俊博全国水土里ネット会長による主催者挨拶、開催県である熊谷俊人千葉県知事を始め橋本直明千葉市副市長から歓迎のことばをいただき、青山健治農林水産省農村振興局次長、千葉県

選出の桜田義孝前衆議院議員、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員と進藤金日子参議院議員からそれぞれ来賓挨拶が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰式が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰41名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。受賞者は一人ずつ名前を呼びあげられるとその場で起立し、スクリーンに映し出された。本県からは、全国土地改良事業団体連合会会長表彰に、川澄安成占部用水土地改良区理事長(本会理事)が表彰の栄に浴された。

式典の後半には、青山農村振興局次長による基調講演後、伊橋秀和篠本新井土地改良区理事長による優良事例紹介があった。



集合写真

小糸川沿岸土地改良区主事坪田咲彩さん、東葛北部土地改良区主事補小沼優輝さんによる力強い大会宣言がなされた後、次期開催県の佐賀県に大会旗が引き継がれ、大会は盛会のうちに幕を閉じた。

23日(水)は事業視察研修会が行われ、本会は両総土地改良区が管理する両総用水第2揚水機場(山武郡横芝光町寺方)を視察した。この施設は、両総用水全体の中央管理所の役割を持ち、本機場の運転のほか、主要な施設の遠方監視及び遠方制御を対象に行っている。参加者は現地担当者の熱心な説明に耳を傾けながらポンプ室を中心に見学を行った。



第46回全国土地改良大会 千葉大  
ふさの国から飛び立て 水土里の恵み 力強く 未来に繋ごう 水土里の礎  
第46回全国土地改良大会 10.22

全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された  
川澄占部用水土地改良区理事長



二階全国水土里ネット会長による主催者挨拶



両総用水第2揚水機場



両総用水第2揚水機場ポンプ室の視察

## 令和6年度 東海ブロック水土里ネット 女性理事等意見交換会

10月28日(月)、ルートイングランティア小牧(小牧市)において東海ブロック水土里ネット女性理事等意見交換会を開催した。東海ブロック(岐阜・三重・愛知)の女性理事や女性の会会員が一堂に会し、事務局を合わせて134名の参加者により盛大に開催された。

基調講演では、東海農政局企画調整室秋田彰調整官による「日本の食料安全保障」というテーマでご講演いただいた。引き続き、各県の代表者からご発言いただいた後、18テーブルに分かれて、「土地改良の発展のために必要なこと」「女性理事登用に

についての印象」「女性の理事登用への障害について」「土地改良区の働きやすい職場環境づくりについて」「食料の安全保障について」の5つのテーマについて意見交換会を実施した。各県の女性理事や会員からは、熱を帯びた意見が飛び交った。

研修会後は犬山頭首工(犬山市)を視察し、東海農政局木曾川水系土地改良調査管理事務所 田中宏治施設管理調整官より頭首工の概要や歴史、また下流部の農業経営にとって非常に重要な役割を担っている施設であると説明を受けた。

16ページへ続く



各県の代表者からの意見の様子



意見交換会の風景



犬山頭首工管理所での研修



犬山頭首工現地視察の様子

## 令和6年度 農地・水・環境のつどい

12月1日(日)、安城市(文化センター)へきしんギャラクシープラザにおいて、「農地・水・環境のつどい」を愛知県と水土里ネット愛知の共催で開催した。この催しは、愛知県内の地域共同活動における農用地・水路・農道等、地域資源の保管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及、県民の理解促進、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰することを目的に毎年開催している。

第1部の優良活動表彰会では、大村秀章愛知県知事による主催者挨拶の後、2組織へ愛知県知事

賞が、3組織へ愛知県土地改良事業団体連合会会長賞が授与された。その後、直江弘文愛知県議会議長による来賓祝辞が述べられ、進藤金日子参議院議員による祝電が披露された。この後、宮崎雅夫参議院議員によるビデオメッセージ披露、愛知県知事賞を受賞した2組織の活動が活動組織より紹介され、中野治美会長の挨拶をもって第1部が終了した。

第2部は天気予報士 土井邦裕氏による「愛知の天気の特徴と異常気象への備え」と題して講演を頂き、盛会のうち幕を閉じた。

部門	愛知県知事賞	愛知県土地改良事業団体連合会会長賞
農地・施設保全活動	神戸の自然を守る会(田原市)	柏原保全活動組織(蒲都市)
農村環境保全活動	西岡環境保全会(豊田市)	十四山広域委員会(弥富市) 古井地区環境保全会(安城市)



大村愛知県知事による主催者挨拶



優良活動表彰会での県土連会長賞授与



# 土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修

9月20日(金)、令和6年度土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修を開催し、延べ57名が参加した。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町村及び水土里ネット役職員の技術力向上を図るべく、土地改良区体制強化事業の

一環として実施している。

講師として、環境省、東海農政局、愛知県の方々をお招きし、それぞれの内容で具体的な講義が行われた。

研修カリキュラムは次頁のとおり。

研修内容	講師 (敬称略)
農業農村整備事業を取り巻く最新の動向と施策	東海農政局 農村振興部設計課 事業調整室長 田中 孝典 東海農政局 農村振興部土地改良管理課 課長補佐 浦井 信雄
会計検査の動向と工事監督員の基礎知識	東海農政局 農村振興部設計課 工事検査官 谷本 昌人
農業農村整備における情報化施工及び3次元データ活用	東海農政局 土地改良技術事務所 専門技術指導官 佐藤 隆史
ため池等を利用した太陽光発電施設の設置	環境省 中部地方環境事務所 地域脱炭素創生室 室長補佐 北川 眞也 愛知県農地計画課 課長補佐 水野 久敬 主査 廣瀬 英里 主査 内藤 美菜子



中根専務理事による開講挨拶



東海農政局 田中事業調整室長による講義



東海農政局 佐藤専門技術指導官による講義



環境省 北川室長補佐による講義

# 令和6年度統合整備推進研修(会計研修)

10月1日(火)、全国水土里ネット主催による令和6年度統合整備推進研修(会計研修)が、愛知県土地改良会館7階大会議室で開催した。

令和4年度から土地改良区に対し複式簿記会計が本格導入され、複式簿記会計の更なる理解を深

めるため土地改良区職員を対象とした本研修会は、財務諸表のチェックポイントや全国の会計処理に関する事例、財務分析の方法についての内容となっており、合わせて82名が出席した。

なお、研修内容は次のとおり。

研修内容	講師	(敬称略)
財務諸表等の作成手続き	全国水土里ネット 支援部 主事	保倉 拓也
会計処理事例紹介		
財務諸表等を活用した財務分析の方法	全国水土里ネット 支援部 参与	飯田 博隆
財務分析活用事例紹介		



全国水土里ネット 保倉主事による講義



全国水土里ネット 飯田参与による講義

# 換地関係異議紛争処理実務研修会

10月11日(金)、全国水土里ネット主催による換地関係異議紛争処理実務研修会が、愛知県土地改良会館7階大会議室で開催され、農林水産省、東海農政局、岐阜県、三重県、愛知県、水土里ネットぎふ、水土里ネットみえ、水土里ネット愛知、全国水土里ネットから27名が出席した。以下の協議事項について説明がなされた後、活発な意見交換が行われた。



協議事項	説明者	(敬称略)
換地を取り巻く状況について	農林水産省 農村振興局整備部土地改良企画課 換地係	太田 岳志
換地関係異議紛争処理事例発表 国土調査完了地区において地区界測量を実施したが、面工事の段階になって現地と登記簿記載内容に齟齬があることが判明したので、これを適切に処理した事例	水土里ネットぎふ 業務部換地指導課 課長	藤沢 広美
所有者不明土地管理制度申立事例について	全国水土里ネット 中央換地センター 主査	平木 琢
中央換地センター報告 換地関係異議紛争処理実務研修会アンケート 集計結果図化について(東海ブロック) 他		

# 水土里ネット事業視察研修会

10月31日(木)、11月1日(金)、農業農村整備事業の推進を図るため、70名参加のもと、事業視察研修会を開催した。

1日目の視察は静岡県静岡市清水区の清水農業協同組合(JA清水)において新丹谷土地改良区あひらこの概要と清水地域の農業農村整備事業の取組事例について、JA清水農地盤整備部山下武治部長より説明を受けた。清水地域には17土地改良区があり、その運営事務と施設の維持管理をすべてJA清水で担っている。農地盤整備部は農業農村整備事業を専門に行っている部署で、事業計画、工事発注、施工管理に携わっている。昭和40年頃から農道整備事業を進めてきたが、近年は農地の大区画化・平坦化による基盤整備事業を進めている。清水地域は高品質な柑橘類の生産が元々盛んな地域であるが、整備前は狭小かつ急傾斜な農地で農作業に多大な労力を要しており、農業者の高齢化や後継者不足に伴い、産地の維持が課題となっていた。そのため農地を平坦化することによって日照量が増え品質や収量が向上し、農業用機械の導入も可能となったことにより作業効率向上にも繋がった。また、施設栽培も可能になり作物の幅も広がり若手後継者の就農が加速したという説明を受けた。

説明の後、担い手育成型農地整備事業により新東名の建設発生土を活用し農地を造成した新丹谷地区のみかん農園を現地視察し急傾斜地を大区画かつ平坦な樹園地にし、生産性の飛躍的な向上、品質・収穫の安定化を実現したと説明を受けた。

2日目は静岡県島田市にある蓬萊橋を自由散策した。蓬萊橋は全長897.4mの農道で「世界一長い木造歩道橋」としてギネスにも認定されている。

午後からは静岡県磐田市の寺谷用水土地改良区において、土地改良区の概要と世界かんがい施設遺産について青木俊篤事務局長、水管理システムについて鈴木隆史事業係長より説明を受けた。寺谷用水は1590年に完成し、天竜川の堤防(治水)と取水施設(利水)を一体的に整備し革新的なかんがい技術導入の先駆けとして水田1,504haに「命の水」を届けている。パイプライン事業等によりその姿を変えたが、流れる水は昔とは変わらず地域の田を潤している。この豊かな水を後世に残していくと説明を受けた。

説明後、令和4年10月6日に世界かんがい施設遺産に登録された堤防跡に設けられた旧取水口碑と現在の水路の現地視察を行った。

いずれの研修先でも参加者から活発な質疑応答があり有意義な2日間となった。



JA清水山下部長による説明



新丹谷地区の現地視察の様子



蓬萊橋土地改良区が管理する農道橋



寺谷用水 堤防跡に設けられた取水口碑の視察

# 水土里情報システム利活用操作研修会

11月6日(水)、7日(木)にかけて、水土里情報システム利活用操作研修会を19団体・32名参加のもと以下の内容について開催した。

## 〈研修内容〉

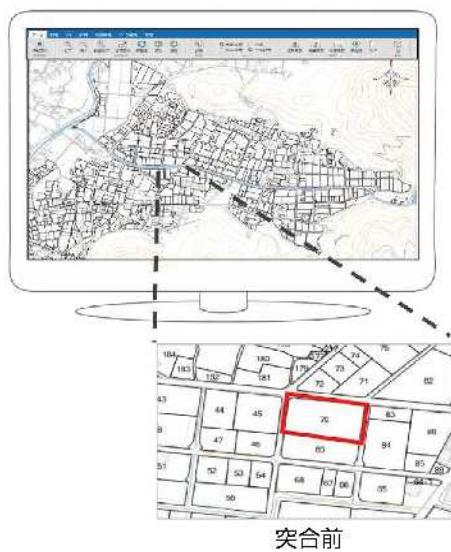
### ①農地筆・耕区図の活用について

各組織が所有している台帳(賦課台帳、作付け台帳等)と水土里情報システムを連携し、所有者や作付け状況を図化する方法を紹介した。

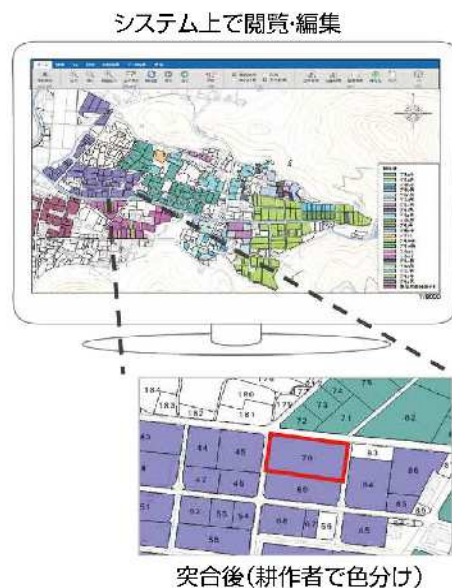
活用データを投入するためのユーザーレイヤを作成し、そこから出力したCSVデータへの

書き込み作業実習を実施した。

また、図形の網集及び印刷ツールによる図郭印刷の実習も行った。



突合  
〈賦課台帳等と紐付け〉



# 農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会

11月21日(木)、22日(金)、本会内に事務局を置く農業用排水機県営移管期成同盟会の事業視察研修会を、氷見市土地改良区が管理する十二町漏排水機場(富山県氷見市)、射水平野土地改良区が管理する射水西部排水機場(富山県射水市)にて実施した。研修会には同盟会役員・会員45名が参加した。

研修1日目は、氷見市土地改良区事務所において、上田業務課長より土地改良区の概要等の説明を伺い、その後、十二町漏排水機場で説明を受けながら視察を行った。

また、2日目は、射水平野土地改良区事務所において、末永業務課長より土地改良区の概要等の説明を伺い、同事務所内の中央管理所・改良区展示場の見学後、射水西部排水機場で説明を受けな

から視察を行った。

研修会は2日間を通して非常に充実した内容となり、各地域における今後の農業用排水機の維持管理や組織の運営について学習する良い機会となった。



氷見市土地改良区事務所



射水平野土地改良区中央管理所



射水西部排水機場

## 適正化事業加入団体现地研修会 開催

12月6日(金)、適正化事業加入団体现地研修会を水資源機構三重用水管理所が管理する菟野調整池(三重県菟野町)とダイハツディーゼル(株)守山第一工場(滋賀県)において開催した。

この研修会は、土地改良施設の適切な維持管理と適正化事業の円滑な推進を図ることを目的に毎年実施しているもので、市町村・水土里ネットの職員42名が参加した。



三重用水管理所、菟野調整池視察



ダイハツディーゼル(株)守山第一工場視察

## 排水機管理担当者現地視察研修会 開催

12月13日(金)、排水機管理担当者現地視察研修会を三重県津農林水産事務所が管理する安濃ダム(三重県津市)と桑名市役所農林水産課が管理する城南排水機場(三重県桑名市)において開催した。

この研修会は、排水機管理担当者の管理技術の向上及び管理意識の高揚を図るために開催したもので、市町村・水土里ネット等の役職員や運転管理者51名が参加した。



安濃ダム



城南排水機場

## 第23回 あいちの農業・農村フォトコンテスト 入賞作品発表

11月13日(水)、本会主催、愛知県後援の「第23回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を本会7階大会議室にて開催した。県内各地から、今回のテーマ「水土里が息づく景観と共にある土地改良施設」を表現した作品281点(128名)の応募があった。

審査は、審査会規程第2条により実施され、8名の審査員による厳正な審査の結果、水土里フォト大賞1点、優秀賞2点、入選10点、四季賞4点、多面的機能共同活動賞3点の合計20点が選考された。



審査会の様子



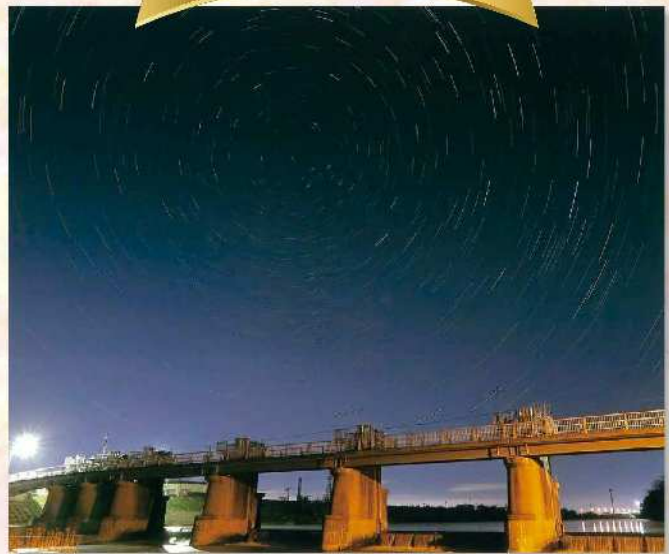
### 水土里フォト大賞

『田んぼに水を』(撮影場所:豊川市)

撮影者: 鈴木 正美

作品は、表紙に掲載しております。

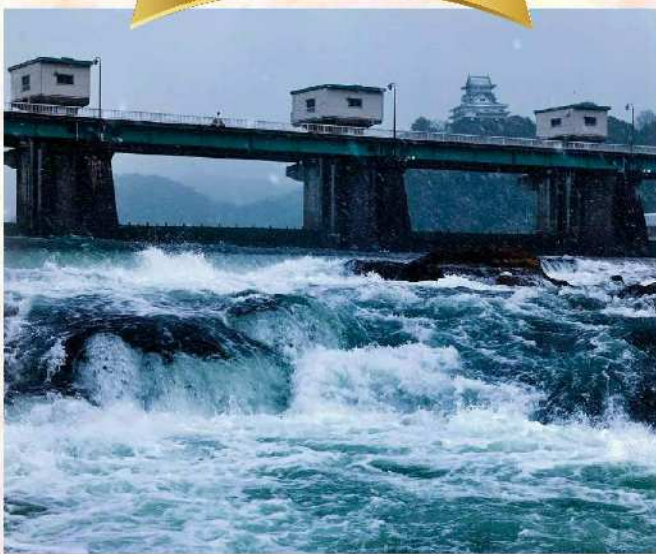
### 水土里フォト優秀賞



『夜明けの頭首工』(撮影場所:西尾市)

撮影者: 下川 清光

### 水土里フォト優秀賞



『激流を生む』(撮影場所:犬山市)

撮影者: 早川 幸夫

### 第23回あいちの農業・農村フォトコンテスト入賞者名簿 (敬称略)

賞	画題	氏名
水土里フォト大賞	田んぼに水を	鈴木 正美
水土里フォト優秀賞	夜明けの頭首工	下川 清光
	激流を生む	早川 幸夫
豊かな農地あいち特別賞	ため池に咲く	竹田 等
入選	ユリカモメのお客さん	青井 純一
	早朝の散水風景	入倉喜巳男
	津島神社お田植まつり	児玉 義彦
	生きものさがし	杉浦 幸雄
	新緑の重川池	高安 正和
	天守からの絶景	丹羽 明仁
	春の鬼鹿毛池	早川 哲夫
	雨の田園	藤本 敦雄
	冬の馬飼頭首工	増田 興次
	春爛漫(Ⅲ)	渡辺 節也
水土里フォト四季賞	冬の築水池	榑 隆雄
	お田植え祭	中川 晴男
	街と共に	日比野義孝
多面的機能共同活動賞	五月晴れの中で	藤原 静子
	田んぼアート	牛田 義光
	魚はどこかな	大高 安司
	川の生きもの調査	保見農地環境保全会

(同賞は氏名50音順)

水土里フォト四季賞



『お田植え祭』(撮影場所:新城市)  
撮影者: 中川 晴男

水土里フォト四季賞



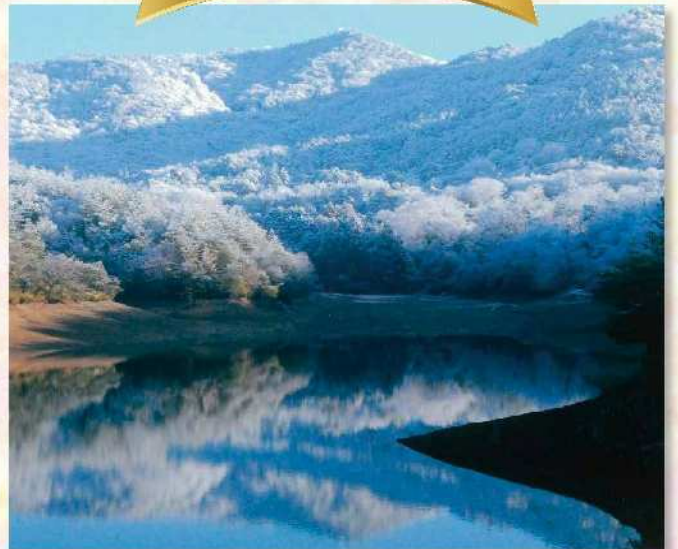
『五月晴れの中で』(撮影場所:岡崎市)  
撮影者: 藤原 静子

水土里フォト四季賞



『街と共に』(撮影場所:春日井市)  
撮影者: 日比野 義孝

水土里フォト四季賞



『冬の築水池』(撮影場所:春日井市)  
撮影者: 榑 隆雄

★入賞・入選作品の展示を以下により実施します。是非お立ち寄りください。

展示場所	展示期間(予定)
愛知県庁本庁舎・西庁舎地下連絡通路	令和7年1月20日(月)AM~1月27日(月)AM
海部県民事務所広報コーナー(海部総合庁舎1階)	令和7年1月27日(月)PM~2月 7日(金)AM
愛知県県民相談・情報センター(自治センター1階)	令和7年2月 7日(金)PM~2月21日(金)AM
西三河県民事務所広報コーナー(西三河総合庁舎1階)	令和7年2月21日(金)PM~3月 7日(金)AM
東三河総局広報コーナー(東三河総合庁舎1階)	令和7年3月 7日(金)PM~3月21日(金)PM

# 「未来へつなごう！ふるさとの水土里」 子ども絵画展2024

「未来へつなごう!ふるさとの水土里」子ども絵画展2024に、全国から3,068点の応募があった。今年で25回目を迎えた本絵画展は、子どもたちに田んぼや畑、水、農業・農村や自らの環境などに関心を持ってもらい、この財産を次世代へと引き継いでいくことを目的として、平成12年度から全国水土里ネットと都道府県水土里ネットが主催している。

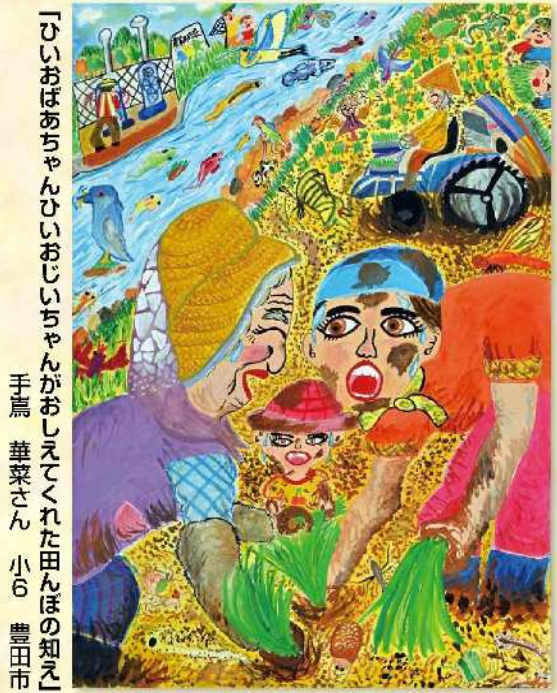
有識者による厳正な審査の結果、入賞作品32点、地域団体賞作品53点、入選作品146点及び佳作170点が決定した。本県からは、入賞4点、地域団体賞8点、入選33点、佳作12点が選ばれ、入賞作品は以下のとおり。

## 入賞 全国水土里ネット会長賞



「わたしのふるさと布土の田植え風景」  
永田 千明さん 小4 美浜町

## 入賞 奥村組 「ふるさとが、好きだ。」賞



「ひいおばあちゃんひいおじいちゃんがおしえてくれた田んぼの知え」  
手島 華菜さん 小6 豊田市

## 入賞 東米商グッドスマイル賞



「おおきなおにぎりたんぼでたべたよ」  
日置 月灯さん 未就学 半田市

## 入賞 日本水土総合研究所賞



「ままがつくったおにぎりおいしいな」  
門田 彩花さん 未就学 半田市



地域団体賞

愛知用土地改良区 理事長賞



「知多半島の玉ねぎの収穫」  
山下 翔央さん 小6 美浜町

油ヶ淵悪水土地改良区 理事長賞



「六月になったよ。デンパークの前で、育ついね。」  
沓名 遥さん 小5 安城市

茶屋新山地域資源保全隊賞



「とうもろこし畑」  
高嶋 琴子さん 小3 名古屋市

水土里ネット豊川総合用水 理事長賞



「メロン とれたよ おばあちゃん！」  
山本 記一さん 未就学 豊橋市

水土里ネット豊田 理事長賞



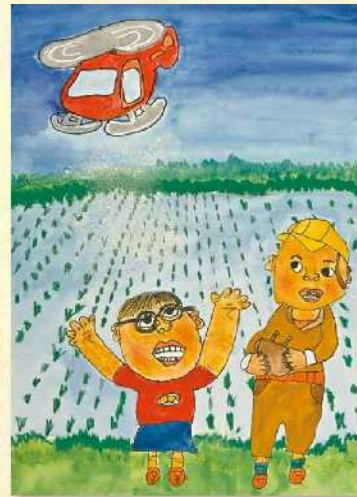
「楽しみにしていた「ボンツク大会」」  
南谷 芽依さん 小3 豊田市

水土里ネット豊田 総務委員長賞



「おこめだいすき」  
栖原 岳さん 小1 豊田市

「ヘリコプターさん仕事が早いね」  
南谷 柚依さん 小1 豊田市



水土里ネット豊田 副理事長賞

「米作りを学び初めての田植え」  
本山 にこさん 小5 安城市



水土里ネット明治用水 理事長賞

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できます。令和7年度に向けてご検討いただければ幸いです。  
詳細は、水土里ネット愛知総務課(TEL:052-551-3611)まで問い合わせください。

# 『あしのべ池・はとが池 秋のため池ウォークラリー』



11月30日(土)、岡崎市欠町の岡崎市東公園において愛知県主催によるため池のPRイベントが開催され、本会は協賛団体として参加した。

愛知県は2007年に「愛知県ため池保全構想」を策定しており、ため池の整備・利活用の促進、ため池の持つ多面的機能の維持・増進を図ることとしている。今回のイベントを通じて身近にあるため池の存在・歴史・役割や、ため池の多面的機能を発揮するために必要な管理の大切さをアピールするため、岡崎市や協賛団体等の協力の元、イベントを開催した。

晴天に恵まれた当日は、多くの来場者が会場に集まる中、グレート家康公「葵」武将隊の司会と岡崎市出身の国立音大生による秋の紅葉コ

ンサートで幕を開けた。大村秀章愛知県知事による主催者挨拶の後、来賓として内田康宏岡崎市市長、新海正春愛知県議会議員、勝又久幸(公財)愛知・豊川用水振興協会理事長、中根俊樹水土里ネット愛知専務理事が出席し、それぞれ祝辞を述べられた。その後、もちまきやため池ソング演奏が披露され、来場者を楽しませた。

セレモニー後は、あしのべ池・はとが池の歴史や知識を学びながら池を周遊する愛知県主催のウォークラリーや各協賛団体が企画した関連イベントが終日実施され、本会はため池に生息する生き物の水槽展示を行った。イベントは多くの来場者で終日にぎわい、好評のうちに幕を閉じた。



水土里ネット愛知による  
生き物展示



ウォークラリーの  
模様



もちまきの様子

# お知らせ

## 「令和6年能登半島地震」の被災地への職員派遣

「令和6年能登半島地震」において、被災した地域の早期復旧を支援するため、「災害応援協定書」に基づき応援要請があり、生活インフラである集落排水施設について全国から応援職員の派遣がある中、本会は七尾市始め4市町村において一次調査(1月29日～2月10日)、二次調査(2月19日～24日)に計3週間にわたり、延べ6名の職員を派遣し被災状況の調査業務支援を行った。

また、5月頃に集落排水施設の災害査定、及び応急復旧等の完了に伴い、7月下旬頃から石川県

羽咋郡志賀町のNN関連施設の復旧にむけた応援要請があり、本会は11月5日～27日までの約一か月間、延べ4名の職員を派遣し、主に農地災害の現地調査、査定設計書作成の支援を行った。

今後、南海トラフ等巨大地震が想定される中、今回の経験を活かし有事の際、皆様のお役に立てるよう努力していく必要があると感じた。

最後に、今回犠牲になられた方々にご冥福をお祈りすると共に、被災された方々が一日も早く日常を取り戻せることをお祈り申し上げます。



液状化によるマンホールの浮上の状況



一次調査(管路:ミラー等による調査)



二次調査(管路:カメラ等による調査)



被災農地の現地調査



査定設計書の添付資料(受益図)



志賀町役場の被災状況(11月時点)

## 研修会のご案内

研修会・催し名	開催月日	対象者
水土里ネット役職員研修会	1月30日(木)	水土里ネット役職員
水土里情報利用団体説明会	3月予定	水土里情報加入団体職員

## 農業基盤整備資金の金利のご案内

令和6年12月18日現在の株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。金利は金融情勢により変動します。詳しくは名古屋支店(TEL052-582-0741)までお問い合わせください。

区分	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
補助事業 県営	1.55%	—	—	—	—
団体営	1.40%	—	—	—	—
非補助事業 一般	1.40%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.85%	1.05%	1.35%	1.40%

# 迎春

本年もよろしくお願ひいたします  
令和七年 元旦



会長	中野治美	愛知知事
副会長	三浦孝司	豊田市長
専務理事	中根俊樹	学識経験者
理事	太田考則	北名古屋市
〃	穂積英一	木津川市長
〃	中野正康	一宮市長
〃	浜田一徳	孫宝排水土地改良区理事長
〃	神長健一	常滑土地改良区理事長
〃	久野知英	学識経験者
〃	川澄安成	占部用水土地改良区理事長
〃	浅井喜代治	西尾土地改良区理事長 矢作川沿岸土地改良区連合理事長
〃	中村健夫	西尾市長
〃	林文浩	愛知県議会議長 よし楽町長
〃	上山重徳	豊川市土地改良区理事長
〃	功刀由紀子	学識経験者
〃	鬼頭弘子	〃
代表監事	近藤正俊	油ヶ渕悪水土地改良区理事長
監事	見玉学弘	学識経験者
〃	大和義弘	田原市土地改良区理事長

事務総長	佐藤 隆	長 官	尚志 晃	ため池施設	サポートセンター	空長	井伊水	上東野	敬邦	將泰
事務副総長	酒塚 竹三	長 官	廣貴 成	山宮部	管理支会	事務課長	伊水 加大	藤塚 川坂	邦 充	浩 宏
事務課長	西大宮 松中	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生
事務課長	佐藤 隆	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生
事務課長	佐藤 隆	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生
事務課長	佐藤 隆	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生
事務課長	佐藤 隆	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生
事務課長	佐藤 隆	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生
事務課長	佐藤 隆	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生
事務課長	佐藤 隆	長 官	藤井 本下	田時豆	支会支会支会支会支会	事務課長	早大 早大	坂 谷	充 晃	淳 生

令和7年1月1日現在

